

chinensis (2×). Pl. Syst. Evol. 148: 89-102. — & Tamura, M. 1977. Chromosome variations in *Ranunculus quelpaertensis* and its allied species. Journ. Jap. Bot. 52: 360-369. Tamura, M. 1978. *Ranunculus cantoniensis* group in Japan. Journ. Geobot. 26: 34-40.

Explanation of plate XII

Upper left: Habitat of *Ranunculus yaegataensis*; broad-leaved cohabitant is *Plantago asiatica* var. *yakushimensis*. Right and lower left: Creeping scapes of *R. yaegataensis*.

□FRYXELL, G. A. (ed.) **Survival strategies of the algae** 144 pp. 1983. Cambridge Univ. Press. ¥8,190. 近年、生物学の分野で“strategy”, “survival”の語をしばしば見るようになった。“戦略”, “生存”の訳語が使われることが多い。この訳語に従えば、本書の題名は「藻類の生存戦略」となる。1980年7月にカナダ・ヴァンクーヴァーで開催された同名のシンポジウムの講演集で、1) 緑藻類, 2) 黄金色藻類, 3) 珪藻類, 4) 渦鞭毛藻類を扱う4章から成り、生存戦略の面で、種子植物の種子に相当する休眠孢子、厚膜孢子など、不良な環境下でつくられる特殊な細胞相の形態、微細構造、形成機構、生活史におけるそれらの役割・意義などが、執筆者自身の研究成果を中心に、それまでに得られた知見とともに総説される。執筆者は 1) A. W. Coleman, 2) C. D. Sandgren, 3) P. E. Hargraves & F. W. French および 4) B. Dale で、1) と 2) は淡水産種、3) と 4) は海産種の記述が中心となる。遅ればせながら注目されるようになった藻類の生存戦略、適応戦略の研究の現状とこれからの方向を知る手がかりを与えてくれる時宜を得た刊行物と言うべきである。(千原光雄)

□MATSUSHIMA, T.: **Matsushima mycological memoir No. 4** 68pp. 1985. Matsushima Fungus Collection, Kobe. マツシマ・ファンガス・コレクションの刊行物として、大著 *Icones microfungorum a Matsushima lectorum* (1975) に続き、不定期ながら標記の出版が続けられてきた(1980, 1981, 1983)。いずれも主に落葉落枝生の不完全菌類の記載と線画を内容とするが、その分離には松島氏の工夫による方法が用いられていて、これまでに極めて多くの新属・新種が発表され、自然の新しい扉を開くの貢献した業績と評してよいと思う。今回の No. 4 には48属64種(2属24種1変種は新分類群)を含む。なお、氏の線画の見事さには定評がある。同コレクションの住所は次の通り: 658 神戸市 [] (Address: [] [] Kobe, Japan 658)。(三浦宏一郎)